

理事会議事録



テ ー マ	大阪協会 令和3年 理事会
日 時	令和3年12月15日（水曜日） 19:00 ～ 20:30
場 所	大阪産業創造館 6階会議室
出 席 者	参加26クラブ（欠席 0クラブ）
資 料	

議 事 内 容
■協会長挨拶（池田 協会長） ●みなさんこんばんは、今年最後の理事会となりました。コロナウィルス感染については、落ち着いてきており感染者数も一桁台になってきています。とは言え、新株のウィルスが発生しており、まだまだ気をつけていただきたいと思います。本日は、先日開催されました連盟拡大常任理事会で皆さんの意見を聞いてほしい議案がありますので、活発な意見を出していただきたいと思いますので宜しくお願いします。 ■全日本カレイ成績発表および入賞者への賞品の配布について（上野 事務局長） ● それぞれの入賞者に対し賞品が配布された。 《拍手》 ■連盟拡大常任理事会報告について（池田 協会長） ●運営費軽減策について ・来年度の年会費については、従来通りの3000円に戻す。 ・会報の発送についても、各協会単位に発送する。 ・連盟会議を年7回から3回の開催に削減する。（2月、7月、12月） ●各協会提出議案について ○徳島協会 ・全キス、全カレイ、両大会での受付けの省略について（他協会も含む） 連盟：コロナ禍収束後も受付けを省略する提案ですが、今回の全日本カレイを実証実験とし、改善すべき点を会場責任者に聞いてみたいと思います。また、本部役員会で渡船の出船時間についての意見も出ており、皆さんの意見を伺いたいと思います。 【意見】 ・受け付けは、無くしても良いと思います。 ・徳島会場では、鳴門競艇場の駐車場を借りて受付けを行っていただいています。数年前は、PJのクラブ員皆さんが雨の中、22時頃から午前3時まで車の誘導を行っていただいていた。会場責任者の苦労が大変だと思うので、トラブルが無ければなくて良いと思います。 この案件については、1月の理事会までに各クラブで協議していただきたいと思います。 次に、渡船利用時の渡船乗船時間についてですが、開始時間が渡船に乗る時間なのか、釣場に到着する時間なのか曖昧であるとの話がありました。大阪協会では5時釣り開始ならば、渡船に乗るの

は5時と決まっています。ただし、巡航船で島等に行く場合は、島に渡るのは良いが釣り場には入らず待機するように決まっています。連盟の解釈では、渡船に乗って釣り場まで行ってもよい。磯に渡っても磯で待機していれば良いという意見であり、他協会と大阪協会の考えが違っていました。皆さんの意見は、どうでしょうか？

【意見】

- ・規定を連盟ではっきりと決めていただきたい。
- ・受付けを行えばそういった問題は起こらないと思います。
- ・連盟からの通達が各クラブ員まで伝わっていないのでは。
- ・連盟でしっかりとしたルールを決めて末端まで通達すればよい。

この件も各クラブで協議していただき、1月理事会にて大阪協会の意見をまとめたいと思います。

- ・場所取りや竿出しの時間を守らない人も見受けられ、従来通り集合場所を決め時間が来てからの出発が良いとの意見も出ていました。

連盟：ルールは厳守いただきたいが、連盟としては場所取りの禁止および竿出し時間の厳守の通達に留め、徹底は協会、各クラブに任せるのが本来である。

- ・会員が減少している中で、受付けを設け参加者を減らすより前向きに考え、より多くの人が参加出来るようにしたほうがよく、受付け無しの方が会場責任者を引き受けやすいと思います。
- ・釣開始時間（例えば午前5時）が、車から出る時間なのか、道具を準備する時間なのか、投げ始める時間なのか、曖昧な点があるので明確にしてほしい。

連盟：事前の通達では、自宅出発は自由とし、釣り場に到着しても5時までは車内または近辺で待機してくださいと明確に記載しています。

- ・渡船の乗船は5時を基準とするのか、それ以前でもよいのか明確にしてほしい。

と言った意見がありました。大阪協会では皆さんに説明している内容と、連盟で話をしている時間の解釈が違っています。理事会で大阪協会の意見を話しましたが、協会によって解釈が大きく違っていました。

○愛媛協会

- ・全日本キスの対象魚をキスのみにしていただきたい。（キュウセンベラを除く）

連盟：過去10年の成績表を確認した処、10位以内の入賞に当該魚は入賞していませんでした。また、10位から40位までに数匹入賞していましたが、全く当該魚の提出が無い大会も見られ、あえて当該魚を外す必要は感じられませんでした。

○兵庫協会

- ・SC団体種目での、一般種目団体の6人制を4人制に戻していただきたい。
- ・ST種目と5種の年齢の統一。
- ・ST種目団体の構成の見直し。

連盟：過去に検討をしたこともあり、年齢を一律にすると、これまでの記録が参考記録となるので、現行通りとする。また、団体の構成については、参加会員の高齢化が進んでおり、年齢制限を無くしたものを戻すことはできない。

- ・大物申請時の規定で、申請書取扱の中に紛らわしいものがあるので修正をしてほしい。

連盟：誤解を与える文章について修正を実施する。

・大物還付金を申請の10%に増額してほしい。

連盟：現状、2万件以上で8%としているが、増額を検討する。

・全キス、全カレイの会場受付けの廃止していただきたい。

●大物申請と年末集計について

・年末大物集計は、昨年の12月11日から本年12月10日までの申請魚で集計をして下さい。

・大物システムについて、一部に不具合が出ており、メーカーと協議しプログラムの変更を行いました。費用については、2020年度にメンテナンス費用として予算取りをしているのでそれで賄います。

●全キス。全カレイでの他魚の部（S割）の採点基準の見直し案について

・来年度の連盟総会にて審議しますので、各クラブにて協議していただき、1月協会理事会で意見を集約しますのでよろしくお願いします。

■全日本カレイおよび大物名人戦、合同納竿大会 結果について （上野 事務局長）

●各大会の成績については、各クラブに配布していますので、確認をお願いします。

名人戦については、29名参加で審査提出は11名と、少し寂しい結果となりました。合同納竿大会は、212名の参加で、審査基準（カレイ・アイナメ含む2匹）が厳しかったのか、審査提出が43名でした。また、他魚の部についても8名のみでした。表彰および賞品については、後日（年明け）になりますのでご了承をお願いします。

■来年度協会行事日程について （上野 事務局長）

●事務局にて案を作成し、皆さんに配布しております。ご意見があればよろしくお願いします。5月のオープン大会については、一般の方の参加が少ない事から来年度は省いております。

初釣り大会については、今年同様に審査のみとし表彰は後日にしたいと思います。なお、コロナの拡散状態により中止や延期があるかも知れませんが、この内容で決定とします。

■連盟新年総会への参加案内について （上野 事務局長）

●連盟より会員10名以上のクラブには出・欠ハガキが届いていると思います。会員10名以下のクラブの方には案内が届きませんので、協会より案内を送らせていただきました。参加自由ですが、参加される方は、1月10日までにクラブ名と氏名を事務局までお知らせ下さい。

■次年度会員登録について （上野 事務局長）

●1月理事会にて受付けを行います。後日、事務局より各クラブに登録書類を配布します。

■その他 （池田 協会長）

●協会長の退任について

大阪協会長として、4期12年間務めてきました。退任するきっかけとなったのは、近年体調が悪く、続けるのが困難となり退任を決意しました。大阪協会はこれまで全国でいちばん会員数が多かったが、高齢者が多く減少するのも早く、現在は300名を切るまでに減ってしまいました。これも仕方がない事かも知れませんが予測はされていました。年々会員減少のスピードが加速してゆきました。何とか回復させようと努力しましたが、なかなか難しい問題です。会員の増強は難しく、現会員をいかに減らさないようにするか、一生懸命努力しても退会者が出てくる状況です。そんな中、協会長退任ということになり、するのは言いにくいのですが、新しい協会長にバトンタッチし、新しい風を入れていただき少しでも大阪協会を発展させていただくようお願いします。私がこれまで大きな問題もなく務

めてこられたのは、大阪協会の役員をはじめ各クラブ会長、会員の皆様のご協力のお陰と感謝しています。連盟の役員についても退任をお願いしているのですが、何らかのお手伝いを依頼されており、大物システム等については自宅でもできるので、協力をするつもりです。全日本サーフに入会し 40 数年経ちますので、恩返しのつもりで連盟の役に立つよう頑張りたいと思います。本当に長い間ありがとうございました。

《 拍 手 》

後任の協会長については、上野さんをお願いし引き受けていただくことになりました。また、事務局については、沢田さんをお願いしようと思います。ご承認をお願いいたします。

《 拍 手 》

ありがとうございます。

■日本記録認定魚（協会記録）の申請について

魚名：ニベ 拓寸：59.5cm （実寸 56.7cm）

釣日：令和3年11月6日

釣人：西大阪サーフ 永沢 弘雄 氏

釣場：徳島県 吉野川

以 上